

体のしくみ

選 択

開講年次：1年次前期

科目区分：講 義

単 位：2単位

講義時間：30時間

■**科目のねらい**：体のしくみについて、人間の動作と身の回りにある道具やサービスとの関連性について学習し、人間が日常生活でどのような動作を行っているのか、どのように感じているのかを学ぶ。さらに、課題を通じて、各ユーザ特性の理解、問題発見から支援方法の提案までを行い、より理解を深める。

■**到達目標**：①障害の箇所の違いによる動作への影響について理解する。
②人間の動作と身の回りにある道具やサービスとの関連性について理解する。

■**担当教員**：

小宮 加容子

■**授業計画・内容**：

- 第1回 ガイダンス「人を知ることが大事」
- 第2回 視覚障害と支援技術
- 第3回 聴覚障害と支援技術
- 第4回 肢体不自由と支援技術
- 第5回 高齢者と支援技術
- 第6回 子どもと関連技術
- 第7回 身の回りのバリアフリー・ユニバーサルデザイン
- 第8回 疑似装具体験1
- 第9回 疑似装具体験2
- 第10回 課題1（グループ討論）
- 第11回 課題2（現状調査）
- 第12回 課題3（提案）
- 第13回 課題4（検証）
- 第14回 課題5（まとめ）
- 第15回 プレゼンテーション

■**教科書**：プリントを配布

■**参考文献**：適宜紹介する

■**成績評価基準と方法**：授業態度（40%程度）、課題発表（20%程度）、課題・レポート（40%程度）を総合的に判断し成績を判定する。

評価方法	到達目標		評価基準	評価割合 (%)
	到達目標①	到達目標②		
授業態度	○	○	積極的な姿勢	40
課題発表	○	○	明快さ、説得力	20
課題・レポート	○	○	調査・分析力、完成度	40
出席			2/3以上の出席	欠格条件

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：ユニバーサルデザイン論

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：さまざまなケースにおける体のしくみを理解し、各専門性へ反映させて欲しい。